

「2015Ironman World Championship」レポート

【 開催日：2015年10月10日（土） 開催地：ハワイ島 KONA 】

TriathlonTeam “Big Lake” 代表 室谷浩二選手

<レース結果>

スイム：3.8km

バイク：180km

ラン：42.195km

総合時間：10時間58分05秒

エイジカテゴリー（50-54）53/237人

KONA 4度目の挑戦



2012年の初出場から4年連続出場となったハワイアイアンマン世界選手権に出場して参りました。今年の出場資格は、2014年8月に開催されたアイアンマンジャパンの予選会で既に獲得していて、レースに向けての調整がし易かったです。

これにより今シーズンは6月中旬までに5戦した後は、KONAに照準を合わせて順調にトレーニングを積む事が出来、10月5日KONAに向けて出発しました。

KONAに入ってから順調にコンディションを整え、10月10日日午前6時50分、226km先のゴールを目指してスタートしていきました。

今年はスイム強化にも取り組みました。月間50km前後泳ぎ込みを続けてきました。年々このレースの競技レベルが向上し、今年も昨年と同じような順位で上陸しましたが、昨年5分近く先にスイムアップしていた日本人仲間と同じタイムで上陸出来たのは収穫でした。



バイクに入ると既に気温が上昇し始めていました。

今年のパウイ島は異常気象が続いていて、この日の天候も灼熱地獄となり選手たちを苦しめました。当然私もその一人。

エイドでは必ず水を被り、そして水分補給も序盤から念入りに摂取していきました。

折り返しのハヴィでこれまでのタイムよりも5分早く、後半も粘っていこうとペダルを踏み続けていきます。



しかし140kmを超えた辺りから内臓に異変が、、、
なんとお腹を壊してしまったのです。



昨年の宮古島大会で極度の脱水に陥りリタイヤしたこともあり、この二の舞は避けたい一心が仇となり水分摂取がオーバー気味となっていたのです。

ここからはペースダウン。

しかし何とか粘って5時間36分でバイクを終了し、ランに入って行きました。

しかしラン序盤からトイレに駆け込む事態に。。。



合計5回。それでも決して諦めることなく、体調が戻ってくれることを祈りながら1 km、また1 km粘っていきました。

そして30 kmを過ぎた辺りからみるみる内に体調が復活！

ここから今まで抜かれ続けた選手たちをごぼう抜きする展開に一変します。

抜いていく選手たちからも私に激を飛ばしてくれる程でした。

そして残り3 km、わざわざ日本から応援に来てくれた友人が約2 km並走してくれたんです。

「良かった。明るい内に帰って来れた！」というのと併せて嬉しさ倍増！

2015年10月29日 室谷浩二選手

苦しかった時間もあつたけど諦めずに最後まで粘れて本当に良かったと思えました。

ゴールシーンでは2000人を越える選手の中でトップ40に選ばれたのは最高の記念となりました。



AthleteXは走破距離 226 km、競技時間 10 時間 58 分をものともせず私の肌を守り続けてくれました。毎年このレースでは、バイクからランのトランジションでボランティアにサンスクリーンをお願いするのですが、今年は必要無しでしたから。この商品が本物である事を証明してくれました。

このレースで今シーズンのトライアスロンレースは終了です。

アミックグループ様

今年2月の出会いから本当に沢山応援して頂きありがとうございました。

一旦しっかり休養を取り、また来シーズンに向けて精進を積み重ねていきたいと思えます。

引き続きご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

2015/10/29

室谷浩二